

IV—4 介護支援専門員実務研修受講試験並びに実務研修・ 現任研修等事業報告

1. 介護支援専門員実務研修受講試験の実施

- (1) 試験日時 平成20年10月19日(日) 午前10時から12時まで
 (2) 試験実施会場 秋田県立大学本荘キャンパス、秋田市文化会館、秋田県社会福祉会館、秋田県生涯学習センター、秋田県生涯学習センター分館ジョイナス
 (3) 試験実施結果 受験者数 1,757名 合格者 347名 (合格率19.7%)

平成15年度から平成20年度までの合格者及びその内訳は次のようになっております。

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
受験者総数(人)	1,192	1,342	1,563	1,613	1,719	1,757
合格者(人)	298	372	348	325	350	347
合格率(%)	25.0	27.7	22.3	20.1	20.4	19.7
全国平均(%)	(30.7)	(30.2)	(25.6)	(20.5)	(22.8)	(21.8)

合格者累計 4,547人

①職種別				
	17年	18年	19年	20年度
医師	0	1	0	0
歯科医師	0	0	0	1
薬剤師	7	1	2	0
保健師	7	5	6	5
助産師	0	1	0	2
看護師	83	31	34	30
准看護師	16	6	12	8
理学療法士	1	1	1	3
作業療法士	6	3	3	1
社会福祉士	9	8	13	13
介護福祉士	174	234	245	251
視能訓練士	1	0	0	0
義肢装具士	0	0	0	0
歯科衛生士	7	6	6	7
言語聴覚士	1	0	0	0
あん摩マッサージ指圧師 はり師・きゅう師	1	0	0	1
柔道整復師	0	0	0	0
栄養士 (管理栄養士を含む)	1	2	3	2
精神保健福祉士	3	2	2	2
相談援助業務	25	22	14	12
介護等業務	6	2	9	9
計	348	325	350	347

(人)

②地域別(勤務先による)				
	17年	18年	19年	20年
県北	87	76	90	88
中央	165	151	151	147
県南	96	98	109	112
計	348	325	350	347

(人)

③性別				
	17年	18年	19年	20年
男性	69	83	90	85
女性	279	242	260	262
計	348	325	350	347

(人)

④年代別				
	17年	18年	19年	20年
20代	103	90	79	101
30代	112	100	119	109
40代	91	77	99	83
50代	38	52	47	49
60代	4	6	6	5
70代	0	0	0	0
計	348	325	350	347

(人)

2. 介護支援専門員実務研修の実施

(1)実務研修の目的

介護保険制度の適切かつ円滑な運営に資するため、必要な知識、技能を有する介護支援専門員の養成を図ることを目的として実施しました。

(2)実施主体

秋田県知事が指定した財団法人秋田県長寿社会振興財団

(3)受講対象者(351名)

平成20年度(第11回)介護支援専門員実務研修受講試験合格者(347名)

平成19年度(第10回)試験合格者のうち延期願いが提出されていたもの(2名)

実務研修受講地の移動者(他県から2名)

(4)研修期間、回数、期日等

	期 間	組	期 日	会 場
前 期 研 修	3 日間	1 組	平成21年1月 9日(金)～ 11日(日)	中央シルバーエリア
		2 組	平成21年1月 16日(金)～ 18日(日)	
		3 組	平成21年1月 23日(金)～ 25日(日)	
後 期 研 修	4 日間	1 組	平成21年2月 13日(金)～ 14日(土) 20日(金)～ 21日(土)	中央シルバーエリア
		2 組	平成21年2月 27日(金)～ 28日(土) 3月 6日(金)～ 7日(土)	
		3 組	平成21年3月 13日(金)～ 14日(土) 21日(金)～ 21日(土)	

(5)研 修 内 容

前期3日、後期4日の計45時間の研修を実施。

前期研修と後期研修の間に、要介護認定のための訪問調査や課題分析・居宅サービス計画原案作成について実習を行った。

[実務研修の主な内容]

- ① 介護保険制度の基本理念、介護支援専門員の基本姿勢等
- ② 介護支援サービスの基本、基礎技術・展開技術、要介護認定等の基礎
- ③ 対人援助技術、課題分析・居宅サービス計画に関する専門的知識及び技術
- ④ 地域包括支援センターの概要、介護予防給付マネジメント

(6)講 師

介護支援専門員指導者及び県内ケアマネジメントリーダー並びに主任介護支援専門員等・県担当者

(7)修了証明書の交付等

全課程を修了した受講者に対し、修了証明書が交付されました。(346名)

秋田県内では、この11年間で4,542名が実務研修を修了しております。

平成20年度 秋田県介護支援専門員実務研修 前期 研修日程

1組 1/ 9～11
 2組 1/16～18
 3組 1/23～25

9:30		10:00		10:15		12:15		13:15		15:15		17:15	
1 日 目	受付	開 講 授 抄 テ オ リ シ ン エ ン	介護保険制度の理念と介護支援専門（講義） 【県担当者・介護支援専門員指導者等】			昼 食 休 憩	介護支援サービスの基本（ケアマネジメントの基本）（講義） 【介護支援専門員指導者等】			要介護認定等の基礎（講義） 【介護支援専門員指導者等】			
			9:30		10:30		12:30		13:30		17:30		
2 日 目	受付及び相談と契約（講義） 【介護支援専門員指導者等】		アセスメント、ニーズの把握方法（講義） 【介護支援専門員指導者等】			休 憩 昼 食	アセスメント、ニーズの把握方法（演習） 【介護支援専門員指導者等】						
	9:30		11:30		12:30		13:30		16:30		17:30		
3 日 目	居宅サービス計画等の作成（講義） 【介護支援専門員指導者等】			居宅サービス計画等の作成（演習） 【介護支援専門員指導者等】			休 憩 昼 食	居宅サービス計画等の作成（演習） 【介護支援専門員指導者等】			実習オリエンテーション		

平成20年度 秋田県介護支援専門員実務研修 後期 研修日程

1組 2/13～14、20～21
 2組 2/27～28、3/6～7
 3組 3/13～14、20～21

9:00 9:30		11:30 12:30		16:30	
1 日 目	受付	地域包括支援センターの概要 (講義) 【介護予防支援指導者修了者】	昼食 休憩	相談面接技術の理解 (講義) 【学識経験者等】	
9:30		12:30 13:30		17:30	
2 日 目		介護予防支援 (ケアマネジメント) (講義) 【介護予防支援指導者修了者】	昼食 休憩	介護予防支援 (ケアマネジメント) (演習) 【介護予防支援指導者修了者】	
9:30		12:30 13:30		16:30	
3 日 目		アセスメント、居宅サービス計画作成演習 【介護支援専門員指導者等】	昼食 休憩	アセスメント、 居宅サービス計画作成演習 【介護支援専門員指導者等】	
9:30		12:30 13:30		15:30 16:30	
4 日 目		チームアプローチ演習 (演習) 【介護支援専門員指導者等】	昼食 休憩	モニタリングの方法 (講義) 【介護支援専門員指導者等】	意見交換 講評 修了式 修了証明書交付 閉講挨拶

3. 介護支援専門員研修（実務従事者基礎研修、専門研修、更新研修、再研修）の実施

●介護支援専門員実務従事者基礎研修

(1) 目的

介護支援専門員として一定の実務を経験した後に、実務従事者として必要な技術・技能の研鑽を図ることで、介護支援専門員の実務能力の向上を図ることを目的として実施しました。

(2) 実施主催

財団法人秋田県長寿社会振興財団（LL財団）

(3) 対象者

介護支援専門員としての実務に携わっている者で実務就業後1年未満の方全員。

(4) 研修期日・会場

実務従事者基礎研修(4日間)

地区別	組	期 日	会 場	受講者数
全県対象	1組	平成20年6月18日(水) 6月19日(木) 6月20日(金) 6月21日(土)	中央シルバーエリア	87名
	2組	平成20年9月17日(水) 9月18日(木) 9月19日(金) 9月20日(土)	中央シルバーエリア	82名

(5) 研修内容

研修内容		研修目的
第1日目	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	机上の実務研修内容を就業後の実践に照らして確認することにより重要な倫理を会得する。
	対人援助技術	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。
第2日目	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	ケアマネジメントの各プロセスの担う役割、目的を再確認するとともに重要性を理解する。また、各自の実践を省みることにより問題点・課題を認識する。
	ケアマネジメント点検演習	自ら担当している事例を持ち寄り、アセスメントの手法や策定したケアプランについて点検し、問題点・課題を明確にして改善方策を見出す。

第3日目	ケアマネジメント点検演習	自ら担当している事例のアセスメントの手法や策定したケアプランについて点検し、問題点・課題を明確にして改善方策を見出す。
第4日目	ケアマネジメント演習講評	演習の結果を踏まえ今後の改善点を考察する。
	研修を振り返っての意見交換、ネットワーク作り	ケアマネジメントの原則に沿った実践を行うための決意を醸成する。

(6) 指導講師

介護支援専門員指導者、主任介護支援専門員、ケアマネジメントリーダー等

(7) 受講者数

- 1組 87名(修了者87名に修了証明書を交付)
- 2組 82名(修了者80名に修了証明書を交付)

●介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅰ・専門研修課程Ⅱ)並びに介護支援専門員更新研修(実務経験者(前期・後期)、実務未経験者)及び介護支援専門員再研修

◆介護支援専門員専門研修(専門研修課程Ⅰ・専門研修課程Ⅱ)
介護支援専門員更新研修(実務経験者(前期・後期))

(1) 目的
(専門研修)

現任の介護支援専門員に対して、一定の実務経験をもとに、必要に応じた専門知識、技能の習得を図ることにより、その専門性を高め、もって介護支援専門員の資質向上を図ることを目的として実施しました。

(更新研修)

介護支援専門員証に有効期限が付され、更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な知識及び技術の向上を図り、能力の保持を図ることを目的として実施しました。

(2) 実施主催

財団法人秋田県長寿社会振興財団(LI財団)

(3) 対象者
(専門研修)

- 専門研修課程Ⅰ 原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6ヶ月以上の方
- 専門研修課程Ⅱ 原則として、介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後3年以上の方

(更新研修)

- ①研修対象者は、介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した者又は従事していた経験を有する者(以下「実務経験者」という)で、介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満

了する者。なお、介護支援専門員としての経験の多寡は問いません。

②専門研修課程Ⅰ及びⅡと同様の内容で構成され、必修課目と選択課目を合わせ、計53時間実施されます。

ただし、平成15年度から17年度の介護支援専門員現任研修基礎研修課程（「基礎研修」といいます）Ⅰ又はⅡを修了している方（みなし修了該当者）若しくは、平成18年度以降の専門研修課程Ⅰを修了している方については、更新研修前期を修了しているものとみなされますので、専門研修Ⅱに相当する研修課目のみ（計20時間）受講することとなります。

(4) 研修期日・会場

専門研修課程Ⅰ・更新研修前期(6日間)

	組	期 日	会 場	受講者数
				専門 更新
全 県 対 象	1組	平成20年 6月11日(水)～13日(金) 7月 3日(木)～ 5日(土)	中央シルバーエリア	96名 52名
	2組	平成20年 8月 5日(火)～ 7日(木) 8月19日(火)～21日(木)	秋田テルサ	94名 116名
	3組	平成20年 9月25日(木)～27日(土) 10月 2日(木)～ 4日(土)	中央シルバーエリア	80名 70名

専門研修課程Ⅱ・更新研修後期(3日間)

	組	期 日	会 場	受講者数
				専門 更新
全 県 対 象	1組	平成20年 7月17日(木)～19日(土)	中央シルバーエリア	91名 44名
	2組	平成20年 9月 5日(金)～ 7日(日)	中央シルバーエリア	74名 54名
	3組	平成20年10月21日(火)～23日(木)	中央シルバーエリア	107名 85名
	4組	平成20年10月21日(火)～23日(木)	秋田テルサ	78名 55名

(5) 研修内容

◆専門研修課程Ⅰ・更新研修前期

研修内容		研修事項
第1日目	介護保険制度論	介護保険制度に対する理解・認識を深める。
	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	実際の業務に照らして確認することにより重要な倫理を会得する。
	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	ケアマネジメントの各プロセスの担う役割、目的を再認識するとともに重要性を理解する。また、各自の実践を省みることにより問題点・改善点を認識して改善方を導き出す。
第2日目	対人個別援助技術 ソーシャルケースワーク（講義）	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。
	対人個別援助技術 ソーシャルケースワーク（演習）	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。
第3日目	対人個別援助技術 ソーシャルケースワーク（演習）	対人援助における面接・コミュニケーション技法のレベルアップを図る。

選択科目①～④（これらの中から3つ以上選択する）

研修内容		研修事項
第3日目	選択科目① 保健医療福祉の基礎理解 「認知症高齢者・精神疾患」	認知症高齢者や精神疾患を持つ人への対処方法を学ぶ。
第4日目	選択科目② サービスの活用と連携 「介護保険施設・認知症対応型 共同生活介護・特定施設入居者 生活介護」	サービス内容を再確認するとともに、自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶ。
	選択科目③ サービスの活用と連携 「居宅療養管理指導」	サービス内容を再確認するとともに、自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶ。
第5日目	選択科目④ サービスの活用と連携 「通所介護・通所リハビリテー ション」	サービス内容を再確認するとともに、自立支援に即した適正なサービスの活用方法と連携の方法を学ぶ。

必修科目（すべて受講しなければならない）

研修内容		研修事項
第5日目	必修科目 保健医療福祉の基礎理解 「社会資源活用」	要介護高齢者が活用しうる社会資源や、関係機関等との連携方を学ぶ。
第6日目	必修科目 保健医療福祉の基礎理解 「人格の尊重及び権利擁護」	権利擁護を担う介護支援専門員の基本姿勢を確認するとともに、高齢者の権利擁護策について認識を深める。
	必修科目 保健医療福祉の基礎理解 「高齢者の疾病と対処及び主治 医との連携」	要介護高齢者の疾病の特徴とその対処法（治療・介護）、医療関係者との連携方法を学ぶ。

◆専門研修課程Ⅱ・更新研修後期

研修内容		研修事項
1 日 目	介護支援専門員の課題①	介護サービスとケアマネジメントの課題を踏まえ、介護支援専門員の基本姿勢を再確認する。
	介護支援専門員の課題②	介護保険制度に対する理解・認識を深める。
	サービス担当者会議演習	サービス担当者会議の運営方法、職種間の連携方法に習熟する。
2 日 目	「居宅介護支援」事例研究	自立支援、利用者本位の観点に基づく居宅サービス計画作成の視点・方法を学ぶ。
	「施設介護支援」事例研究	自立支援、利用者本位の観点に基づく居宅サービス計画作成の視点・方法を学ぶ。
3 日 目	「居宅介護支援」演習	作成した居宅サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換しながら、支援困難事例を含む多様なケースを課題分析し居宅サービス計画の作成に習熟する。モニタリング、再アセスメント、居宅サービス計画変更の課程を学ぶ。サービス担当者会議におけるサービス事業者などとの連携方法を学ぶ。
	「施設介護支援」演習	作成した施設サービス計画を持ち寄り、相互に意見交換しながら、生活の質の向上及び継続性、在宅復帰の可能性等の施設特有の課題分析と施設サービス計画の作成に習熟する。モニタリング、再アセスメント、施設サービス計画変更の過程を学ぶ。施設における職種間の連携方法、施設外の資源の活用と連携方法を学ぶ。グループ事例検討の方法を学ぶ。

(6) 指導講師

①専門研修課程Ⅰ・更新研修前期

県担当者、県介護支援専門員連絡協議会、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県社会福祉士会等

②専門研修課程Ⅱ・更新研修後期

県介護支援専門員連絡協議会、主任介護支援専門員、ケアマネジメントリーダー等

(7) 受講者数

①専門研修課程Ⅰ・更新研修前期

1組 96名(修了者 96名)・ 52名(修了者 52名)
 2組 94名(修了者 93名)・ 116名(修了者 116名)
 3組 80名(修了者 79名)・ 70名(修了者 70名)

②専門研修課程Ⅱ・更新研修後期

1組 91名(修了者 92名)・ 44名(修了者 44名)
 2組 74名(修了者 73名)・ 54名(修了者 54名)
 3組 107名(修了者 106名)・ 85名(修了者 85名)
 4組 78名(修了者 78名)・ 55名(修了者 55名)

◆介護支援専門員更新研修（実務未経験）・介護支援専門員再研修

（１）目的

（更新研修）

介護支援専門員証に有効期限が付され、更新時に研修の受講を課すことにより、定期的な研修受講の機会を確保し、介護支援専門員として必要な知識及び技術の向上を図り、能力の保持を図ることを目的として実施しました。

（再研修）

介護支援専門員として実務についていない者又は実務から離れている者が実務に就く際に、介護支援専門員としての必要な知識、技能の再修得を図ることを目的として実施しました。

（２）実施主催

財団法人秋田県長寿社会振興財団（L L財団）

（３）対象者

（更新研修）

研修対象者は、介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した経験を有しない者（以下「実務未経験者」という）で、介護支援専門員証の有効期間が1年以内に満了するもの。ただし、有効期間満了日後も実務に就く予定のない等で更新を希望されない方は、更新研修を受講する必要はありません。）

なお、有効期間満了日までに更新研修を修了されていない場合でも、再研修を受講し、新たに介護支援専門員証の交付を受けることにより、実務に就くことができます。

- ①介護支援専門員証の交付を受けてから、その有効期間が満了するまでに介護支援専門員として実務に従事した経験を有しない者（以下「実務未経験者」という）
- ②介護支援専門員証の有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している者又は従事していた経験を有する者（以下「実務経験者」という）

（再研修）

介護支援専門員として都道府県の登録を受けた者であり、登録後5年以上実務に従事したことがない者又は実務経験はあるがその後5年以上実務に従事していない者で、今後、新たに介護支援専門員証の交付を受けようとする者とする。

また、介護支援専門員実務研修修了後、相当の期間を経過した者及び介護支援専門員証の有効期間が切れた者についても、本研修の対象者とする。

（４）研修期日・会場

	期 間	組	期 日	会 場
前 期 研 修	3 日 間	1 組 2 組	平成 20 年 7 月 10 日（金）～ 12 日（日） 平成 21 年 1 月 9 日（金）～ 11 日（日）	中央シルバーエリア
後 期 研 修	4 日 間	1 組 2 組	平成 20 年 8 月 22 日（金）～ 23 日（土） 29 日（金）～ 30 日（土） 平成 21 年 2 月 13 日（金）～ 14 日（土） 20 日（金）～ 21 日（土）	中央シルバーエリア

(5) 研修内容

前期3日、後期4日の計45時間の研修を実施。

前期研修と後期研修の間に、要介護認定のための訪問調査や課題分析・居宅サービス計画原案作成について実習を行った。

[更新研修の主な内容]

- ① 介護保険制度の基本理念、介護支援専門員の基本姿勢等
- ② 介護支援サービスの基本、基礎技術・展開技術、要介護認定等の基礎
- ③ 対人援助技術、課題分析・居宅サービス計画に関する専門的知識及び技術
- ④ 地域包括支援センターの概要、介護予防給付マネジメント

(6) 指導講師

介護支援専門員指導者及び県内ケアマネジメントリーダー並びに主任介護支援専門員等・県担当者

(7) 受講者数

更新研修・再研修

1組 131名・1名

2組 42名・18名

4. 主任介護支援専門員研修

(1) 目的

介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を習得することを目的として実施しました。

(2) 実施主体

秋 田 県

(3) 運営主体

財団法人秋田県長寿社会振興財団（LL財団）

(4) 対象者

介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有する介護支援専門員とする。

具体的には、以下①から④のいずれかに該当し、かつ「介護支援専門員専門研修実施要綱」に基づく専門研修課程Ⅰ及び専門研修課程Ⅱ又は「介護支援専門員更新研修実施要綱」に基づく実務経験者に対する介護支援専門員更新研修を修了した者とする。

- ① 専任の介護支援専門員として従事した期間が通算して5年（60ヶ月）以上である者（ただし、管理者との兼務は期間として算定できるものとする。）
- ② 「ケアマネジメントリーダー活動支援事業実施及び推進について」に基づくケアマネジメントリーダー養成研修を修了したもの又は日本ケアマネジメント学会が認定する認定ケアマネジャーであって、専任の介護支援専門員として従事した期間が通算して3年（36ヶ月）以上である者（ただし、管理者との兼務は期間として算定できるものとする。）
- ③ 主任介護支援専門員に順ずる者として、現に地域包括支援センターに配置されている者とする。
- ④ その他、介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有する者であり、秋田県が適当と認める者

(5) 研修期日・会場

主任介護支援専門員研修(9日間)

	期 日	会 場	受講者数
全県対象	平成20年	中央シルバーエリア	99名
	11月 8日(土)～9日(日)		
	11日(火)～12日(水)		
	14日(金)～15日(土)		
	20日(木)～22日(土)		

(6) 研修内容

研修内容		研修事項
1 日 目	ケアマネジメントと 介護支援専門員の倫理	○ 利用者主体、自立支援、公正中立、権利擁護、守秘義務、利用者ニーズの代弁等
	主任介護支援専門員の役割と視点	○ 地域包括支援センターにおける主任介護支援専門員の役割 ○ 居宅介護支援事業所における主任介護支援専門員の役割
	地域援助技術 (コミュニティー ソーシャルワーク)	○ 概念、機能及び目的、展開技法 ○ 主任介護支援専門員とコミュニティーワーク ○ 解決困難な問題事例等を用いて、地域診断と不足するフォーマルサービス、インフォーマルサービスの開発普及
2 日 目	主任介護支援専門員の役割と視点	○ 包括的・継続的ケアマネジメント体制の構築 ○ 地域ケアマネジメント力の向上支援方策、関係機関とのネットワークの構築手法 ○ 地域における総合的なケアマネジメントの実施、調整手法 ○ 地域の介護支援専門員実態把握の手法 ○ 勉強会、技術向上を目指した「場づくり」の支援方策
	地域援助技術 (コミュニティー ソーシャルワーク)	○ 概念、機能及び目的、展開技法 ○ 主任介護支援専門員とコミュニティーワーク ○ 解決困難な問題事例等を用いて、地域診断と不足するフォーマルサービス、インフォーマルサービスの開発普及
3 日 目	事例研究及び事例指導方法	○ 事例を用いた指導手法のポイント ○ 指導における留意点 ○ 実際に指導する立場に立って相互に評価する ○ 講師の助言を得ながら、指導方法の向上を図る。
4 日 目		
5 日 目		
6 日 目	リスクマネジメント	○ 高齢者が起こしやすい事故の内容 ○ 事例をふまえた苦情対応 ○ サービス事業者に求められるリスクマネジメントの目的と内容 ○ マニュアルの作成方法 ○ リスクマネジメントのケアプランの関係、反映手法

	人事・経営管理	<ul style="list-style-type: none"> ○ 経営管理の基礎理論 ○ 経営戦略・マーケティングの手法 ○ 財務管理・経営計画の作り方 ○ 業務管理・目標管理の導入方法 ○ 業務評価制度と人事考課 ○ 雇用管理。労使関係の課題と現況 ○ 人材育成のための研修計画
	ターミナルケア	<ul style="list-style-type: none"> ○ ターミナルケアの基本理解 ○ ターミナルケアの課題(居宅・施設) ○ 利用者家族への支援方法 ○ 疾病の病態理解
7 日 目	対人援助者監督指導 (スーパービジョン)	<ul style="list-style-type: none"> ○ スーパービジョンの内容と方法 ○ 介護支援専門員に対する適切な指導方法 ○ 個人スーパービジョンとグループスーパービジョンの具体的な技法の理解と向上
8 日 目		
9 日 目		
	研修の振り返りとまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理 ○ サービス展開におけるリスクマネジメント ○ 人事・経営管理 等

(7) 指導講師

主任介護支援専門員、学識経験者等

- | | | |
|-----------------------|-----|--------|
| ○秋田看護福祉大学看護福祉学部社会福祉学科 | 助 教 | 工藤英明 氏 |
| 〃 | 助 教 | 宮本雅央 氏 |
| 〃 | 助 教 | 児玉寛子 氏 |
| ○日本赤十字秋田短期大学看護学科 | 准教授 | 中村順子 氏 |
| ○特定非営利活動法人ふくし@JMI | 理事長 | 小湊純一 氏 |

(8) 受講者数

99名 (修了者97名に修了証明書を交付)

平成20年度介護支援専門員実務研修演習指導講師一覧

1 組目 中央シルバーエリア (多目的ホール) 24グループ	
前期研修 平成21年1月10日(土)～11日(日)	後期研修 平成21年2月13日(金)～14日(土)
2日目 1月10日(土)(10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 1月11日(日)(9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	3日目 2月13日(金)(9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」 4日目 2月14日(土)(9:30～15:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の展開技術「チームアプローチ」 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術「モニタリング」
演習指導者リーダー：特別養護老人ホーム借生園 施設長 佐藤 哲彦 氏	
湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平 京子 氏	湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平 京子 氏
(株)みらい 代表取締役 石川 佐智子 氏	(株)みらい 代表取締役 石川 佐智子 氏
東恵園地域生活支援センター センター長 福本 雅治 氏	やすらぎの郷 施設長 武田 喜代子 氏
八橋地域包括支援センター社協 副管理者 阿部 奈穂美 氏	八橋地域包括支援センター社協 副管理者 阿部 奈穂美 氏
羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木 生久夫 氏	羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木 生久夫 氏
羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木 尚敏 氏	羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木 尚敏 氏
能代市地域包括支援センター 所長 松田 かよ子 氏	能代市地域包括支援センター 所長 松田 かよ子 氏
2 組目 中央シルバーエリア (多目的ホール) 23グループ	
前期研修 平成21年1月17日(土)～18日(日)	後期研修 平成20年3月6日(金)～7日(土)
2日目 1月17日(土)(10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 1月18日(日)(9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	3日目 3月6日(金)(9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」 4日目 3月7日(土)(9:30～15:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の展開技術「チームアプローチ」 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術「モニタリング」
演習指導者リーダー：湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平 京子 氏	
大仙市社会福祉協議会東部介護ステーション 居宅介護支援事業所 管理者 小笠原 深幸 氏	特別養護老人ホーム借生園 施設長 佐藤 哲彦 氏
土崎居宅介護支援事業所 管理者 関谷 重昭 氏	土崎居宅介護支援事業所 管理者 関谷 重昭 氏
介護老人保健施設なごみのさと 事務次長 小原 秀和 氏	介護老人保健施設なごみのさと 事務次長 小原 秀和 氏
(社)秋田県看護協会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 山崎 弘子 氏	(社)秋田県看護協会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 山崎 弘子 氏
特別養護老人ホーム雄水苑 施設長 鈴木 卓 氏	特別養護老人ホーム雄水苑 施設長 鈴木 卓 氏
能代山本医師会居宅介護支援事業所 管理者 袴田 光樹 氏	居宅介護支援事業所おおたき 管理者 伊藤 政利 氏
あゆみ居宅介護支援事業所 管理者 川浪 妙子 氏	あゆみ居宅介護支援事業所 管理者 川浪 妙子 氏
3 組目 中央シルバーエリア (多目的ホール) 21グループ	
前期研修 平成21年1月24日(土)～25日(日)	後期研修 平成21年3月20日(金)～21日(土)
2日目 1月24日(土)(10:30～17:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、ニーズの方法」 3日目 1月25日(日)(9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「居宅サービス計画等の作成」	3日目 3月20日(金)(9:30～16:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術 「アセスメント、居宅サービス計画等作成演習」 4日目 3月21日(土)(9:30～15:30) 介護支援サービス(ケアマネジメント)の展開技術「チームアプローチ」 介護支援サービス(ケアマネジメント)の基礎技術「モニタリング」
演習指導者リーダー：(株)みらい 代表取締役 石川 佐智子 氏	
大仙市社会福祉協議会東部介護ステーション 居宅介護支援事業所 管理者 小笠原 深幸 氏	大仙市社会福祉協議会東部介護ステーション 居宅介護支援事業所 管理者 小笠原 深幸 氏
(有)よろ津や 取締役副社長 佐藤 俊一 氏	(有)よろ津や 取締役副社長 佐藤 俊一 氏
湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 阿部 透 氏	湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 阿部 透 氏
居宅介護支援事業所おおたき 管理者 伊藤 政利 氏	能代山本医師会居宅介護支援事業所 管理者 袴田 光樹 氏
やすらぎの郷 施設長 武田 喜代子 氏	東恵園地域生活支援センター センター長 福本 雅治 氏
秋田県厚生連農業協同組合連合会 あきた指定居宅介護支援事業所 管理者 小松 きよ子 氏	秋田県厚生連農業協同組合連合会 あきた指定居宅介護支援事業所 管理者 小松 きよ子 氏
秋田県厚生連農業協同組合連合会 あきた指定居宅介護支援事業所 中川 久美子 氏	秋田県厚生連農業協同組合連合会 あきた指定居宅介護支援事業所 中川 久美子 氏

平成20年度 介護支援専門員研修（実務従事者基礎研修、専門研修課程Ⅰ・Ⅱ、主任介護支援専門員研修）講師一覧

①実務従事者基礎研修

期 日	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	対人援助技術	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	ケアマネジメント点検演習・研修を振り返っての意見交換、ネットワーク作り
<p>1組目 6月18日(水) 21日(土)</p> <p>2組目 9月17日(水) 20日(土)</p>	<p>(講義)</p> <p>1組・2組共通</p> <p>秋田看護福祉大学 社会福祉学科 教授 柴田 博 氏</p>	<p>(講義・演習)</p> <p>1組・2組共通</p> <p>特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏</p>	<p>(講義)</p> <p>1組 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 氏</p> <p>2組 (株)みらい 代表取締役 石川佐智子 氏</p>	<p>1組 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 氏 土崎居宅介護支援事業所 管理者 関谷重昭 氏 横手市サンハイム母子生活支援施設 綿貫 哲 氏 厚生連居宅介護支援事業所 管理者 小松きよ子 氏 (有)よろ津や 取締役副社長 佐藤俊一 氏 県看護協会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 山崎弘子 氏 (株)虹の街 やすらぎの郷 施設長 武田喜代子 氏 仙北市地域包括支援センター 社会福祉士 浅利和磨 氏</p> <p>2組 (株)みらい 代表取締役 石川佐智子 氏 横手市サンハイム母子生活支援施設 綿貫 哲 氏 厚生連居宅介護支援事業所 管理者 小松きよ子 氏 仙北市地域包括支援センター 社会福祉士 浅利和磨 氏 羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木生久夫 氏 介護老人保健施設なごみのさと 事務次長 小原秀和 氏 飯川病院 看護師長 鎌田百合子 氏</p>

②専門研修課程Ⅰ・更新研修前期

期 日	介護保険制度論	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	対人個別援助技術 (ソーシャルケースワーク)	選択科目 保健医療福祉の基礎理解 認知症高齢者・精神疾患	選択科目 サービスの活用と連携 介護保険施設・認知症対応型 共同生活介護・特定施設入居者生活介護
<p>1組 6月11日(水) 13日(金) 7月3日(木)</p> <p>2組 8月5日(火) 7日(水) 19日(火)</p> <p>3組 9月25日(木) 27日(土) 10月2日(木)</p>	<p>(講義)</p> <p>1組・2組・3組共通</p> <p>県長寿社会課 介護保険班 担当者</p>	<p>(講義)</p> <p>1組 秋田県介護支援専門員 連絡協議会 会長 福本雅治 氏</p> <p>2組・3組 特別養護老人ホーム 雄水苑 施設長 鈴木 卓 氏</p>	<p>(講義)</p> <p>1組 湯沢市複合老人福祉施設 いさみが岡 施設長 赤平京子 氏</p> <p>2組目 (株)みらい 代表取締役 石川佐智子 氏</p> <p>3組目 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏</p>	<p>(講義・演習)</p> <p>1組 泉地域包括支援センター リンデンバウム 管理者 佐々木宏幸 氏</p> <p>2組・3組 日本赤十字秋田短期大学 特任教授 三浦正樹 氏</p>	<p>(講義)</p> <p>1組 今村病院 医師 塩田 睦 氏</p> <p>2組 秋田大学医学部附属病院精神運動器学講座精神科学分野 助教 菅原純哉 氏</p> <p>秋田大学医学部保健学科臨床看護学講座 助教 猪股祥子 氏</p> <p>3組 今村病院 院長 稲庭千弥子 氏</p>	<p>(講義)</p> <p>1組目 高齢者グループホーム ふれあい荘 管理者 半田智寿子 氏</p> <p>特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏</p> <p>2組目 グループホーム親孝の里 管理者 原田正胤 氏</p> <p>特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏</p> <p>3組目 高齢者グループホーム ふれあい荘 管理者 半田智寿子 氏</p> <p>特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏</p>

期 日	選択科目 サービスの活用と連携 居宅療養管理指導	選択科目 サービスの活用と連携 通所介護・通所リハビリテーション	保健医療福祉の基礎理解 社会資源活用	保健医療福祉の基礎理解 人権尊重及び権利擁護	保健医療福祉の基礎理解 高齢者の疾病と対処及び主治医との連携
<p>1組 7月 4日(木) 5日(木)</p> <p>2組 8月20日(水) 21日(木)</p> <p>3組 10月 3日(金) 4日(土)</p>	<p>(講義)</p> <p>1組・2組・3組共通</p> <p>秋田県歯科医師会 理事 畠山桂郎 氏</p> <p>秋田県薬剤師会 理事 畠中 岳 氏</p>	<p>(講義)</p> <p>1組・2組・3組共通</p> <p>(株)みらい 代表取締役 石川佐智子 氏</p>	<p>(講義)</p> <p>1組・2組・3組共通</p> <p>ひだまりケアサービスセンター 地域管理責任者 米谷恭一 氏</p>	<p>(講義)</p> <p>1組・2組・3組共通</p> <p>秋田県社会福祉士会 権利擁護センターぱあとなあ秋田 運営委員 畠山妃美子 氏</p>	<p>(講義・演習)</p> <p>1組 渡邊医院 院長 渡邊 廉 氏 第一病院居宅介護支援事業所 介護支援専門員 佐々木佳緒理 氏</p> <p>2組 秋田県医師会常任理事 小玉弘之 氏 第一病院居宅介護支援事業所 介護支援専門員 佐々木佳緒理 氏</p> <p>3組 秋田県医師会 常任理事 島 仁 氏 第一病院居宅介護支援事業所 介護支援専門員 佐々木佳緒理 氏</p>

③専門研修課程Ⅱ・更新研修後期

期 日	介護支援専門員の課題①	介護支援専門員の課題②	サービス担当者会議演習	居宅・施設介護支援事例研究
<p>1組 7月17日(木) 19日(土)</p> <p>2組 9月5日(金) 7日(日)</p> <p>3組・4組 10月21日(火) 23日(木)</p>	<p>(講義)</p> <p>1組・2組・3組・4組共通 県長寿社会課 介護保険班 担当者</p> <p>1組・2組・4組 県介護支援専門員 連絡協議会 会長 福本雅治 氏</p> <p>3組 県介護支援専門員 連絡協議会 副会長 佐々木生久夫 氏</p>	<p>(講義)</p> <p>1組・2組・3組・4組共通 湯沢市福祉事務所 社会福祉班 班長 佐藤 博 氏</p>	<p>(講義・演習)</p> <p>1組 (株)みらい 代表取締役 石川佐智子 氏</p> <p>2組 湯沢市複合老人福祉施設 いさみが岡 施設長 赤平京子 氏</p> <p>3組 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏</p> <p>4組 湯沢市複合老人福祉施設 いさみが岡 施設長 赤平京子 氏</p>	<p>1組 (居宅介護支援事例研究) (株)みらい 代表取締役 石川佐智子 氏 羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木生久夫 氏 大仙市地域包括支援センター中央 主幹 小松京子 氏 八橋地域包括支援センター社協 副管理者 阿部奈穂美 氏 飯川病院 看護師長 鎌田百合子 氏 老人介護支援センターてんのう 相談担当主任 岩谷淳志 氏</p> <p>1組 (施設介護支援事例研究) 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 氏 東恵園地域生活支援センター センター長 福本雅治 氏 (有)よろ津や 取締役副社長 佐藤俊一 氏 介護老人保健施設なごみのさと 事務次長 小原秀和 氏</p> <p>2組 (居宅介護支援事例研究) 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 氏 大仙市社会福祉協議会東部介護ステーション居宅介護支援事業所 主査 小笠原深幸 氏 羽後町社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所管理者 佐々木尚敏 氏 五城目町地域包括支援センター 介護支援専門員 椎名テル子 氏 湯沢市地域包括支援センター 介護支援専門員 小杉則子 氏 あいかわ社協居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 松橋恵子 氏</p> <p>2組 (施設介護支援事例研究) 県看護協会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 山崎弘子 氏 やすらぎの郷 施設長 武田喜代子 氏 特別養護老人ホーム憩寿園 施設長 渡部 勝 氏 介護老人保健施設いこいの里 事務局長 村木敏明 氏</p> <p>3組 (居宅介護支援事例研究) 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長 赤平京子 氏 (株)みらい 代表取締役 石川佐智子 氏 羽後町地域包括支援センター 参事 佐々木生久夫 氏 大仙市社会福祉協議会東部介護ステーション居宅介護支援事業所 主査 小笠原深幸 氏 県厚生農業協同組合連合会あきた指定居宅介護支援事業所 管理者 小松きよ子 氏 羽後町社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所 管理者 佐々木尚敏 氏 県看護協会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 山崎弘子 氏 大仙市地域包括支援センター東部 主任介護支援専門員 畑江澄子 氏</p>

				ニツ井地域包括支援センター 主任介護支援専門員 あゆみ居宅介護支援事業所 管理者 4組 (施設介護支援事例研究) 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 (有)よろ津や 取締役副社長 介護支援専門員保健施設なごみのさと 事務次長 湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長補佐 土崎居宅介護支援事業所 管理者 老人介護支援センターてんのう 相談担当主任 指定居宅介護支援事業所おおたき 管理者	平川洋子 氏 川浪妙子 氏 佐藤哲彦 氏 佐藤俊一 氏 小原秀和 氏 阿部 透 氏 関谷重昭 氏 岩谷淳志 氏 伊藤政利 氏
--	--	--	--	---	--

④主任介護支援専門員研修

期 日	ケアマネジメントと 介護支援専門員の倫理	主任介護支援専門員の 役割と視点	地域援助技術 (コミュニティー ソーシャルワーク)	主任介護支援専門員の 役割と視点	地域援助技術 (コミュニティー ソーシャルワーク)
11月8日(土) 9日(水)	(講義) 秋田県社会福祉士会 副会長 荒谷博美 氏	(講義) 大仙市 地域包括支援センター中央 主幹 小松京子 氏	(講義) ひだまりケアサービスセンター 地域管理責任者 米谷恭一 氏	(講義) 特別養護老人ホーム平成園 施設長 栗林孝得 氏	(講義) ひだまりケアサービスセンター 地域管理責任者 米谷恭一 氏

期 日	事例研究及び事例指導方法	リスクマネジメント	ターミナルケア	対人援助者監督指導 (スーパービジョン)	研修の振り返りとまとめ
11月11日(火) 12日(水) 14日(金) 15日(土) 20日(木) 22日(土)	(講義・演習) 秋田看護福祉大学看護学部 社会福祉学科 助教 工藤英明 氏 助教 宮本雅央 氏 助教 児玉寛子 氏	(講義) 秋田県福祉施設経営 指導センター 専門相談員(社会保険労務士) 渡部喜政 氏	(講義) 日本赤十字秋田短期大学 看護学部 准教授 中村順子 氏	(講義・演習) 特定非営利活動法人 ふくし@JMI 理事長 小湊純一 氏	(講義) 特別養護老人ホーム偕生園 施設長 佐藤哲彦 氏

5. 介護支援専門員研修委員会の設置・運営

介護保険制度の要として位置づけられる介護支援専門員について、介護現場において期待される役割を十分に果たすことができるよう、その支援方策、研修の進め方等について協議し、ケアマネジメントの質の向上及び地域ケア体制の構築の支援を図るため、7名の委員からなる秋田県介護支援専門員研修委員会（以下「委員会」という。）を設置し、介護支援専門員実務研修・現任研修等のカリキュラムの企画検討、研修事業のあり方等、当該事業全般のあり方及び方向性等の検討を行った。

介護支援専門員研修委員会

●委員名簿 別紙 7名

委員長 佐藤哲彦 氏（特別養護老人ホーム偕生園 施設長）
副委員長 赤平京子 氏（湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡 施設長）

●委員会開催状況

・5月23日（金）

内 容 ○介護支援専門員実務従事者基礎研修の演習方法について
○介護支援専門員専門研修課程Ⅱの事例提供方法について
○介護支援専門員更新研修について

・11月28日（金）

内 容 ○介護支援専門員更新研修（実務未経験者）について
○介護支援専門員再研修について
○介護支援専門員実務研修の演習方法について
○来年度の更新研修について

・1月10日（土）

内 容 ○介護支援専門員実務研修演習指導者について
○介護支援専門員実務研修テキストの変更点についての確認
○介護支援専門員実務研修後期研修の事例選定及び演習方法について
○チームアプローチ演習の事例について
○モニタリングの講義・演習について
○実習報告書の取り扱いについて
○来年度の更新研修・再研修について

秋田県介護支援専門員研修委員名簿

(任期) 平成19年4月1日～平成21年3月31日

No.	氏 名	勤 務 先 ・ 所 属 名	職 名
1	◎佐藤哲彦	特別養護老人ホーム 偕生園	施設長
2	福本雅治	東恵園地域生活支援センター 県介護支援専門員連絡協議会	会 長
3	松田かよ子	能代市地域包括支援センター	所 長
4	阿部奈穂美	八橋地域包括支援センター社協	副管理者
5	石川佐智子	(株) みらい	代表取締役
6	○赤平京子	湯沢市複合老人福祉施設いさみが岡	施設長
7	佐々木生久夫	羽後町地域包括支援センター	参 事

◎委員長、○副委員長 (順不同、敬称省略)